

平成21年度 事業計画

総務委員会 委員長 大枝正人

今年度も江坂の環境づくりと会員交流に努めます。

江坂ビジョン21推進会議

- 1.江坂ビジョン21の推進
- 2.行政との連携
- 3.地域住民との連携
- 4.他団体との連携
- 5.江坂まちづくり協議会事務局の運営
- 6.神崎川畔企業連絡会議との連携
- 7.大阪まちづくりプラットフォームとの連携

総務委員会

- 1.総会（講演会）と懇親会並びに新春のつどいの開催
- 2.委員長会議・理事会の準備、設営
- 3.会員情報調査と名簿の発行
- 4.事務局の管理

広報委員会

- 1.会報の発行（年間3回）
- 2.広報活動全般
- 3.ホームページの管理・更新
- 4.会員企業の取り扱い商品のホームページ掲載
- 5.広報誌のホームページ掲載

会計委員会

- 1.本会計の管理
- 2.会費納入における自動振替制度の促進

交通対策委員会

- 1.迷惑駐車排除/パトロールの推進（年間約50回）
- 2.不法駐輪自転車の徹底排除の協力推進

催事委員会

- 1.江坂音楽フェスティバルの開催
- 2.吹田まつりへの側面的な開催協力（クリスマスコンサート）

環境整備委員会

- 1.喫煙禁止地区制定に伴う啓発活動の実施
- 2.クリーンデーの実施
- 3.大阪美しい景観づくり推進会議への参画
- 4.江坂駅西地区交通環境改善協議会との連携
- 5.環境美化に関する条例改正の検討

アドブロード委員会

- 1.アドブロード支援
- 2.路傍のガーディナー紹介

献血推進委員会

- 1.献血運動の実施（年3回 5月、9月、3月）

会員増強委員会

- 1.新入会員増強

会員サービス委員会

- 1.異業種交流会の実施
- 2.研修会の実施
- 3.ゴルフ大会（年2回）
- 4.ボウリング大会（年1回）
- 5.会員へのサービス提供（チケット配付など）

地域防災委員会

- 1.江坂地域の企業の防災に対する啓発活動
- 2.吹田市と協力して地域防災対策の推進

防災について お知らせ

地域防災委員会 委員長 渋谷清明

災害時用物資関連備蓄状況

江坂企業協議会では2年前より、近い将来に発生が懸念されている東南海および南海地震などの大災害時に備えて、災害時用物資の備蓄を進めております。今回は、その備蓄状況をご報告いたします。

（備蓄品） 2009年8月5日現在

- 救助用資機材 2セット ●毛布 150枚
- ブルーシート 200枚 ●携帯ガスコンロ 4台
- 携帯ガスボンベ 6本 ●防じんマスク 30枚
- 非常食 1ケース（50人分） ●水 3ケース
- 非常袋 約1000枚 ●訓練用水 消火器 10本
- 防災ヘルメット 15個



紙谷工務店協力の備蓄倉庫（江坂町）

これらの備蓄品は、災害発生時に地域防災担当者の指揮のもと配布し活用いたします。

地域防災委員会として、今後も少しずつではありますが、必要物資の備蓄を進めてゆきたいと考えております。



また、各会員企業様（※紙谷工務店協力の備蓄倉庫（江坂町））におかれましても、水や食糧品、医薬品などを中心に備蓄（2～3日分位）の検討を進めていただければと思います。

又、地域防災委員会は、ご一緒に活動していただける会員を求めています。「災害に強いまち・江坂」づくりを進める上で、一人でも多くの方の参加を必要としています。

活動内容など、多少でも関心のある方は、ぜひ事務局までご一報ください。

江坂企業協議会事務局 TEL06-6380-0241

新型インフルエンザ

大和病院 新宮 水香

今年の春に関西で猛威を振るった豚インフルエンザ！形を潜めて次の出番を今か、今かと待っているのでしょうか？テレビで毎日のように何処で、何人発生、〇〇高校で、△△小学校で、何人発生。と報道され、まるで罹った人が悪者かのように言われておりました。世間は顔々がすべてといていいほどマスクに覆われ、していない人は変人かのように、また少しでも咳をすると汚いものを見るように蔑視され、世の中がおかしくなっていたように思います。おかげで医療施設はマスク、消毒剤、含嗽薬が手に入らず治療に支障が出るくらいでした。一般の人も医療関係の人と同じく正しい知識を持ち、冷静に対応できなければいけません。

今回の豚インフルエンザ、感染力は通常のインフルエンザより強いですが、重篤な作用は起こしません（本人の基礎体力に因ります）。また、通常のインフルエンザの予防策と同じですが、次に挙げておきますので参考にしてください。

①手洗い（感染防止には基本中の基本）

- 流水+石鹸で15秒以上手洗い、洗った後は水分を十分に拭き取る（速乾性擦式消毒用アルコールで両手を刷り合わせる。ウイルスは60%～80%アルコールで死滅）

②咳エチケット

- 咳をする場合、ティッシュや手で口を覆い他の人から顔をそむける（ティッシュは捨て、その手は洗きましょう）
- 咳が出る人はマスクをする。咳をする人にはマスク着用を勧める（対人距離を2メートルに保つと感染リスクは減少）

③うがい

- 外出先から帰宅時には必ずうがいをする
- 以上3点行っていれば罹るリスクは減少します。但し日常生活で暴飲暴食、不摂生な生活をしていると、体の免疫力が低下し、抵抗力が衰え、感染するかもしれません。秋から冬にかけての風邪の季節、今からしっかりと体調管理をしていきましょう。また、体調がおかしいな？と思ったら症状が悪くならないうちに医療機関を早期受診してください。